

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社島津製作所（証券コード:7701）

### 【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- 分析・計測機器の大手メーカー。計測機器を中心に、医用機器、産業機器、航空機器の各事業に展開。計測機器では分析・計測対象に応じた幅広い製品ラインナップを有する。特に試料中の各成分の含有量を測定するクロマトグラフや質量分析計に強みを有し、これら重点機種は業績への貢献度も高い。加えて近年は、前処理装置などの周辺機器やカラムなどの消耗品、ソフトウェア、アフターサービスなども含めたトータルソリューションの提供を推進している。この一環として22年11月に試薬事業を手掛ける日水製薬や、24年4月にメンテナンス・サービスを手掛ける米Zef社などを買収している。
- 強固な事業基盤に変わりはなく、当面も底堅い業績が維持される見通しである。主力の計測機器事業では、中国は厳しい局面が続くものの、足元で受注高は底打ちしており、需要は回復に向かっている。その他地域は注力する北米向けを中心に総じて良好な事業環境にある。今後も環境・安全に対する規制強化などを背景に当社製品の需要は拡大の方向に向かうと見られる。また、実質無借金経営を継続するなど、強固な財務基盤が保たれている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3期営業利益は760億円（前期比4.5%増）の計画である。中国における計測機器の事業環境の悪化や、投資コストの増加などのマイナス影響はあるものの、積み上がった受注残高の消化や価格改定などで補い、増益となる見通し。26/3期以降もヘルスケア分野などの成長市場を取り込み、業績は堅調に推移すると見られる。今後は中国における計測機器事業の需要回復の状況や、成長投資を利益水準の向上に結びつけていくかなどに注目していく。
- 24/3期末の自己資本比率は73.1%（前期末68.4%）、DER0.02倍（同0.03倍）など改善している。利益蓄積により自己資本の増加が進んでいる。投資や株主還元を積極化させているが、財務規律に対する意識は高く、キャッシュフロー創出力なども踏まえれば、今後も良好な財務構成が維持されると考えられる。

（担当）関口 博昭・長安 誠也

### ■格付対象

発行体：株式会社島津製作所

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	200億円	J-1+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：関口 博昭
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社島津製作所
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル